

～画家が愛した神話の漁村を描く～

女子美術大学付属中学スケッチ展

2018年

7/28 (土) ~ 9/2 (日)

会場 ①

青木繁「海の幸」記念館

小谷家住宅 (館山市指定文化財)

土日開館 10:00~15:30

館山市布良 1256

維持協力金(入館料):一般 200円・小中高 100円

※平日の見学希望は要予約 (小谷 090-3434-3622)

会場 ②

たてやま温泉



館山市藤原 1495

☎ 0470-28-2211

会場 ③

不老山薬師温泉
安房自然村

館山市布良 600

☎ 0470-28-1111

東京の女子美術大付属
中学校2年生141人が
このほど、館山市布良に



女子美大付属中2年生141人

館
山



スケッチに取り組む生徒ら＝館山市布良で

スケッチツアーに訪れ、青木繁が海の幸を描いた雰囲気を感じながら絵を描いた。

恒例。布良は明治を代表する画家・青木繁が愛した聖地で、女子美大の名誉理事長の大村智氏は、海の幸が描かれた「小谷家住宅」の保存活動に尽力した「NPO法人青木繁『海の幸』会」の理事長を務めるなど、天学と縁

の深い地でもあり、今回初めて布良でのツアーが実現した。

2泊3日の日程で訪れた生徒らは、初日はNPO安房文化遺産フォーラムの案内で、小谷家住宅、布良崎神社、布良漁港などを見学。2日目に1日ばかりで水彩画でスケッチに取り組み、小谷家の記念館やアジサイ、港の風景、神社の鳥居越しの海などを思い思いにスケッチブックに描いた。

同中学校の担当教員は「さまざまなロケーションがあり、いろいろな絵を描くことができた。館山は青木をはじめ近代画家たちが愛した地域で、そうした魅力を生徒たちも感じ取っていることが絵にも表れていた。来年もぜひ訪れて体験させたい」と話していた。